

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	関野勝仁
		全体計画						経費区分		-		内線	3625
事務事業名	4322 体育施設管理事業												
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課												
施 策	14022000 スポーツ活動の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費											
	事業	010000 体育施設管理事業											
事業目的							事業概要・効果						
市民の体育・スポーツのニーズに対応した体育施設の貸し出し及び施設整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりの向上を図る。							体育施設の使用予約受付、調整等を実施し、市民、市外からの合宿・大会等に貸し出し及び施設の適切な管理、整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりを進める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
体育施設修繕料 8,948千円 シルバー人材センター施設管理業務委託15,092千円 施設管理委託料17,670千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務	体育施設修繕料 9,000千円 シルバー人材センター施設管理業務委託21,000千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	市民1人あたりのスポーツ施設利用回数						
算式						単位	回
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	6	6	6	6	6	
	実績						
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるため施設利用率を高める						
最終年度目標の根拠	2019年度の体育施設の人口一人当たりの使用回数が5.5回であることから利用回数を高くするために6回と目標を設定して取り組むこととした						
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		57,744	61,407
特定財源	国庫支出金	6,081	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	7,723	11,309
一般財源		43,940	50,098
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	2.9	2.9
	臨時職員	0.2	0.1
人員コスト	正規職員	6,271.2	6,271.2
	嘱託職員	9,132.1	9,132.1
	臨時職員	335.6	167.8
	計	15,738.9	15,571.1
市民一人当たりの経費		1.4	1.5
総額		73,482.9	76,978.1

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	18,718	消耗品費1,342、燃料費718、体育施設電気料 6,352、上下水道料 1,204、修繕料8,948 など
12節 委託費	17,671	除雪委託料23、警備保障委託111、電気保安業務委託料 403、施設整備委託料 1,902、シルバー人材センター施設管理業務委託料 15,091 など
14節 工事請負費	602	北部体育館電気工事
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	20,753	会計年度任用職員報酬6,360、同手当1,058、同社会保険料1,150、土地借上料2,403、原材料費526、備品購入費7,216 ほか

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	20,725	消耗品932、燃料費867、体育施設電気料 7,941、上下水道料 1,777、修繕料 9,000など
12節 委託費	25,368	除雪委託料300、警備保障委託225、電気保安業務委託料403、施設整備委託料3,300、シルバー人材センター施設管理業務委託料21,000など
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,314	会計年度任用職員報酬等6,437、同期末手当1,061、同保険料1,154、土地借上料2,403、原材料費1,000、備品購入費700など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の健康維持や趣味の場を提供する体育施設は、大切であるが、利用者が特定の方に偏ってしまう傾向がある	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	健康維持には成果が表れていると思われる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	年々老朽化する体育施設の改修や維持管理に多額な経費がかかる。体育施設利用料を値上げしたくても施設が老朽化しているため利用者から理解されない。施設改修を行った後でないと料金値上げできない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

体育施設の老朽化に伴い維持管理費が増加している。特に新型コロナウイルス対策として、使用前の手指消毒、使用後の共用部分の消毒、チェックリストの記入など必要経費が増加している。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の大規模改修は、当面行なわないとしているが、 事故が起きてからでは遅いため、計画に沿った施設改 修が必要ではないか		スポーツ施設は、利用度、充実要望の高い施設であり 、防災の観点からも施設管理は重要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	